

安全人報誌

安衛委 No.115
平成23年7月8日
安全衛生推進委員会

夏の交通事故防止

七月十六日から二十五日までの

十日間実施されます。

スピードの出し過ぎは重大な事故に結びつきますので、制限速度を守り、交差点やカーブでは原則を心掛けるとともに、無理な追い越しなどは絶対にしないで下さい。また、行楽や帰省などで長距離運転するときは、無理のない計画と十分な休養をとり過労運転防止に心掛けましょう。

《アルコールが運転に及ぼす影響》

○感覚の鈍麻

対象物を追う目の動きが、スムーズでなくなる。暗闇で感度が落ちる。耳が遠くなる等。

○注意力の低下

いわゆる「不注意」の状態を招く。集中力・持久力が衰える。

○反応・動作の乱れ

反応時間は遅れ気味、エラーが増え、動作には不揃いになる。

運転抑制が弱まるので、衝撃的になり、行動が粗暴化する。

○判断行動

速度の判断力が鈍る。先を急ごうとする傾向が現れる。

○連想・記憶

少量のアルコールでは、一時的に連想活動が活発になり、頭が良くなったような錯覚にとらわれる。しかし、記憶機能が減退する。

○情動

抑制がとれて気分が高揚し、軽躁的になる。

○人格

自己中心的になり、気が大きくなる。

《飲酒運転を繰り返す問題点》

○自分は何回も飲酒運転を経験しているのに、これくらいなら大丈夫と勝手に作り上げていること。

○飲酒運転事故による悲劇は自分には無関係と思っていること

○飲酒運転に対する罪の意識が希薄なこと。

熱中症に注意

熱中症の発生は、その日の体調が影響します。厚さに対して最も重要な働きをする汗は、血液中の水分と塩分から創られます。

脱水状態や食事抜きといった状態のまま暑い環境に行くことは、絶対に避けなければなりません。作業中に次の症状がでたら熱中症の初期症状である可能性が高いので注意して下さい。

- めまい
- 吐き気
- ふらつき
- 頭痛
- 顔色が悪い
- 疲れやすい
- 全胸部の皮膚発疹
- 下肢や上肢の筋肉のけいれん



各現場での安全対策又は

ヒヤリ体験談

今回は市道駅前馬場線道路改良工事を担当しました佐藤英夫さんです。

市道駅前馬場線の安全管理を次の三事項を重点的に行いました。

一 クレーン作業に伴い架空線があるので、架空線を切断しないように、十分注意して作業を行う事。

クレーン作業中は、一人作業は絶対

にせず、監視員を配置し、資材の搬入搬出を行い、架空線を切断しないようにして作業しました。

二 足場を設置しての作業となるので、墜落・転落のないように十分注意して作業を行う事。

足場も法令が改正されて一年が過ぎましたが、幅木及び中棧を設置し作業の際は安全帯の使用の徹底を朝の朝礼で指示し、事故防止に努めました。

三 掘削の作業を伴うので、休日及び夜間などに、一般者が現場内に入つて転落して事故のないように注意しました。

BOXに伴う掘削作業のため、一般の方々が何度か現場内に入って見学している人もいたので、開口部のある箇所にはトラロープや注意喚起の看板を設置して事故防止に努めました。

最後ではありますが、建設業において、墜落・転落

災害が一番多い災害であり、この現場に於ては

まる工事でありましたが、災害事故もなく無事に完成することが出来ました。

